

令和4年度 学校経営方針 ～ONE TEAM ふじみ野小～

学校教育目標		自分で考え実行する子 みんな仲良く優しい子 のびのび元気なたくましい子				
めざす学校像		みんなが笑顔で活躍する学校				
市教育振興基本計画		「学びあい人がつながり 一人ひとりが輝く富士見の教育」 ～認め 励まし ほめる教育～				
ふじみ野プライド(職員行動方針)		愛情・信頼・連携を意識し、ワンチームで創意工夫した教育活動を行っていきましょう。SDGsの理念を生かす教育				
最重点課題		■頭フル回転の授業(STEM教育の継続) ■学年・学級づくり(自己肯定感・自己有用感の向上) ■コロナ禍でも楽しい体験学習				
5 つ の 柱	I 確かな学力の育成 ・主体的・対話的で深い学びにより、児童一人ひとりの学力を伸ばす。	II 豊かな心の育成 ・笑顔とあいさつにあふれ、互いが認め合う温かい人間関係を育成する。	III 体力の向上 ・授業の充実、行事、いきいきタイムで体力の向上と運動好きな児童を育成する。	IV 安全安心な環境づくり ・安全安心で潤いのある教育環境づくりを計画的に進める。	V 保護者・地域との連携 ・保護者、地域と連携・協力して、児童の健全育成を図る。	
	達成目標	①児童が主体的・対話的に学ぶ授業「頭フル回転の授業」 ②県学調で伸び率向上 ③STEM教育の推進	①あいさつ(学校評価の課題) ②メリハリのある学級経営 ③体験活動の充実 ④いじめのない学校づくり ⑤道徳教育の推進	①出席率向上、けがの減少 ②外遊びが増える ③新体力テスト結果「A+B+C」段階80%以上(R3:72%)	①マスク、手洗いの奨励 ②児童の事故を0に ③整理整頓された学校 ④安全安心な通学路 ⑤掲示物の充実	①学校の良いところを大いに発信 ②FNS、保教の会、学校運営支援者協議会、民生委員、遊びーズ等と連携 ③小中一貫教育の推進
主 な 具 体 的 方 策	①毎日の授業で、主体的・対話的で深い学びを推進する ・本校児童の頭をフル回転させる授業 ②1時間の授業づくり ・めあて→考える時間(一人、ペア、グループ)→まとめ・振り返り→次時 ③STEM教育の実践 ・問題解決的な学習 ・S:サイエンス T:テクノロジー E:エンジニアリング M:マティマティクス ④コロナ禍の体験活動の推進 ⑤少人数指導等で一人ひとりの学力向上 ⑥読書指導(図書室の活用、朝読書、市図書館と連携など) ⑦外国語教育の充実 ⑧自主・家庭学習の習慣化	①あいさつと会釈(マスクでも) ②メリハリのある学級経営 ③コロナ禍でも、できる限りの体験活動 ④特別活動で心の交流と温かい人間関係づくり ・コロナ後は縦割り活動も ⑤特別支援・交流教育の推進 ⑥いじめ・不登校の予防、早期発見・早期対応 ⑦自己肯定感・有用感の向上 ⑧カカトそろえ、時間を守る等 ・特別活動、生活目標、やくそく ⑨歌声響く・絵心輝く学校づくり ⑩考え、議論する道徳授業 ⑩通級指導教室の機能活用	①体育授業の充実 ・今年の重点 ②運動場の計画的な整備・活用 ・ライン引き、外遊び等 ③コロナ禍でも創意工夫した体育活動で体力向上 ・運動会、縄跳び等 ④新体力テストに本気で臨み、結果を分析し、さらに体力を高める運動に取り組む ⑤保健指導で健康アップ ・手洗い、マスク着用等	①各種対応マニュアル・避難訓練を活用し、児童の安全を確保する ②保護者・地域との協働による通学路の安全確保 ③もくもく清掃等、清掃指導を通して、校内美化を図る ④市教委と連携した施設・設備の改善 ⑤校内の掲示板等の計画的な活用 ⑥スクールカウンセラーの活用により心の安定化を図る ⑦学校ぶらぶらで、教育環境の向上	①学校運営支援者協議会の活動を通して、学校・家庭・地域の相互連携(コロナ後) ②学校・学年だより、保護者会等で、学校・子供のよいところを積極的に発信(写真・ビデオで見せるなど) ③家庭との連携を図るとともに、アクシデントへの迅速で誠実な対応 ④できる範囲でネットスタッフの活動をする ⑤小中一貫教育の推進 ・勝瀬中、勝瀬小、鶴瀬小 ⑥地域行事へも参加できたら、うれしい・歌声リーダー等	
	評価	学校評価・児童・保護者アンケート各学力調査(県・全国学調等)等	学校評価・児童・保護者アンケート 等	新体力テスト学校評価・保護者アンケート各保健結果 等	学校評価・保護者アンケート等	学校評価・保護者アンケート学校公開日等のアンケート学校関係者評価等



